

はじめに

私は現在、国際情報学部（以下、iITL）に在籍しており、iITLで学び始めてから早2年が経とうとしています。1年次は学生生活のほとんどを地元茨城県で過ごし、キャンパスに通えない日々が続いていました。授業はオンラインで行われたため、自宅で好きな時間に勉強することができ、アルバイトもサークル活動もなかったため、時間的余裕が多くありました。たった4年間の大学生活。今のこの時間をどれだけ有意義に使うかが自分の将来を左右すると思ひ、さまざまなことに積極的に挑戦してきました。

情報処理技術者試験の合格

入学前から漠然とWebマーケティングに興味があり、情報系の学修には特に注力してきました。情報理論やプログラミングなど、iITLでの学びは情報処理技術者

学びを止めない

〜コロナ禍で入学した2年間の研鑽〜

国際情報学部国際情報学科3年
私立清真学園高等学校（茨城県）出身

おかわだ みつき
大和田 光紀

試験に関係する部分が多く、これが私の受験の動機となりました。また、iITLにはこの試験に精通している先生がおり、基本情報技術者試験では午前試験免除テストが設けられたり、応用情報技術者試験では筆記試験対策講座が開かれたりしたので、切磋琢磨する仲間と諦めずに挑戦することができました。講義で教わった基本的な知識をベースに、このような受験サポートを活用し、書籍やアプリを使って自学を進めた結果、1年次に基本情報技術者試験に、2年次には応用情報技術者試験に合格することができました。iITLには前職がIT企業のお勤めだった先生方も多く、授業中の些細な体験談などもこれらの試験に役立ちました。

インターシッピング活動の経験

平日頃から自分の将来を考えながら学びに励むようにしていても、大学の中だけでは学べないことはたくさんあります。企

業で働くとはどういうことなのか、今の自分には何ができるのか、そして自分は何がしたいのかをもっと知るため、選考を受け、興味があったITベンチャー企業の長期インターンに参加しました。実際にWebマーケティングコンサルタントとして働く方を側でサポートしたり、朝礼や定例会議に参加したりと、リアルな職場をこの時期から体験できたことは、私にとって大きな刺激となりました。また、ほとんどの社員がフルリモートワークで働き、SlackやWeb会議サービスを使って連携を取っている現代の働き方や、ベンチャー企業が社員とのつながりを尊重しながら成長していく過程を実際に見ることができ、貴重な経験となりました。

学部長賞受賞

懸命にiITLでの学びに励んだこと、情報処理技術者試験に挑戦したこと、また今後の将来に向けた努力の姿勢などを認めて



学部長賞受賞の様子



いただき、2021年度の学部長賞に選出されました。「情報」と「法律」を学ぶというほかに類を見ないこのITで、さまざまな学びを吸収し、設けられた制度をうまく活用して、残りの大学生活も有意義な時間の過ごし方を常に模索していきたいと考えています。文系出身でも情報の仕組みを学べるカリキュラムや、時代のニーズを反映した学びを提供してくれるこの学部は、私の興味関心を常に広げてくれます。そのような学部の賞をいただいたことに恥



ゼミ活動の様子

じないよう、今後も積極的に行動していきたいです。

ゼミでの学びとこれから

私は、人間とコンピュータ・システムの相互作用をテーマとした飯尾淳先生のゼミに所属しており、ゲーム教育を用いたプライバシー意識の向上について研究しています。インターンでWeb広告に携わったことや、必修の法律科目で個人情報保護法や各国の個人情報規制の枠組みを学んだこともあり、個人情報やプライバシー意識については特に興味がありました。ここでは、個人情報の公開を適切に判断できるようにすることをめざしたWebアプリケーションを作り、利用者のプレーデータを取得することでプライバシー意識の向上の実態を分析することを目標に研究に励んでいます。現在の将来の希望進路は、情報技術を活用して企業や社会の課題に解決策を提案するITコンサルタントになることです。エンジニアとも齟齬なく業務が進められる情報技術の知識、情報プライバシーなどに関連した法律や倫理規範の知識、企業と技術者・企業と顧客をつなぐ架け橋になるための対話力などを身につけ、企業だけでなく社会の利益まで包括して考えられるような人になりたいです。またコンサルタントとして長期的な戦略を練るためには、これからの社会がどう変化するか、先見の明も養わなければなりません。学ばなければならぬことは、まだまだたくさんあります。だからこそ、学びを止めない。これが私の大学生活の大きなテーマとなっています。